



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 4月号
令和2年4月24日発行

「ひすいっ子」の仲間入り！



よろしくね！

桜咲く小春日和の4月9日、ひすいの里総合学校の入学式が行われました。令和2年度は、小学部2名、中学部4名、計6名の新生入生です。在校生、保護者、教職員が見守る中、ピンクの胸花に初々しさを漂わせながらも、担任の先生の先導で元気に式場に入ってきました。新型コロナウイルス感染防止のためにマスクを着用しており、表情はあまり読み取れませんでした。緊張感の中にも夢と希望をもって式に臨んでいる様子でした。

翌日の10日は丸一日の学校生活でしたが、新しい環境に戸惑うことなく友達や先生方と楽しく過ごし、順調なスタートを切ることができました。この調子で1年間、頑張ってもらいたいと願っています。

さて、ひすいの里総合学校の年度の始まりには、やはり「ひすいっ子」について触れなければなりません。始業式でも「目指せ！ひすいっ子」として子どもたちに話したことです。ひすいっ子とは、「**ひ**とみ輝く子（好奇心をもち学ぶことに喜びを感じる姿）、**す**てきな笑顔の子（友達と協力し楽しく活動する姿）、**い**つも元気な子（体を鍛え健康的な生活リズムを作る姿）」のことで、これは教育目標であり、校歌の歌詞にもうたわれています。ひすいっ子は、子どもたち、教職員の共通の目標です。

今年度もご支援をよろしくお願いいたします。

＜校歌＞ はばたけあしたへ

ひとみ かがやく きょうのはじまり

すてきな えがお あふれてる

いつもげんきな なかまたち （後略）

<4・5月の生活目標>

「げんきよく あいさつをしよう」



挨拶は人と人が出会ったときに、最初に行う行動です。挨拶によって、人と人とのつながるきっかけが生まれ、関わりが広がっていきます。

以前「オアシス運動」が学校で盛んに行われていた時代がありました。「おはようございます」「ありがとうございます」「しつれいします」「すみません」の頭文字をとったものです。「オアシス」はご存じのように、砂漠に水が湧き樹木が生えているところ、すなわち、心と体に安らぎを与えてくれる場所です。そう考えると、挨拶は心と心を通い合わせ安心を生む大事な役目があると言えるでしょう。

学校生活でも、家庭生活でも、地域生活でも挨拶ができると良いですね。まずは、朝の挨拶からでしょうか。4月は新しい出会いがあります。自ら進んで挨拶をすることでより良い人間関係をつくりたいものです。

<<< 転入職員紹介 >>>



瞳キラキラで登校するひすいっ子。学校では笑いと元気一杯のひすいっ子。大大大好きです。一緒に勉強したり遊んだりするのを楽しみにしています。

教頭 飯田 貴裕 (高田特別支援学校)



「ひすい」のように輝く子どもたちと一緒に、たくさんチャレンジをしたいです。作ること、描くことが好きです。専門は美術です。よろしくお願いします。

ひだまり 梨本祐美子 (吉川高等特別支援学校)



地元の糸魚川出身です。6年ぶりに大好きなひすいの里総合学校に勤務することができました。とてもうれしくて、ワクワクしています。

中学部 神喰由紀子 (高田特別支援学校)



ひとみ輝くひすいっ子に会えることを楽しみにしていました。子どもたちが安心して笑顔あふれる学校生活を送ることができるようがんばります。

あおぞら 北澤 夕香 (高田特別支援学校)



自然豊かな糸魚川の地で、ひすいの里の子どもたちと学べることに喜びを感じています。笑顔あふれる学校生活になるように努力して参ります。

かがやき 古川 瞳 (上越市立飯小学校)



能生小学校より参りました。音楽がとっても大好きです。ひすいの皆さんと楽しく歌ったり、踊ったりしたいです。

よろしくお願いします。

中学部 金澤 薫 (糸魚川市立能生小学校)



立場は変わりましたが、引き続き、ひすいっ子と関わることができ、幸せです。笑顔を大切にしていきます。

よろしくお願いします。

ひだまり 石黒 一美 (教育補助員 新採用)

